

2021 「奨励金事業」実施団体

	申請団体	申請者	テーマ	助成金額
1	千早赤阪村立中学校	教諭 木村 大地	学校の敷地を利用し、生徒の有志で園芸部の活動を始めました。福島の震災の復興事業である「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加したり、作物を栽培し、学校給食につかってもらうことを目標に取り組んでいます。	11万円
2	岸和田市立東葛城小学校	校長 京極 清	自己有用感を育てる体験活動	10万円
3	「障害」児・者の生活と進路を考える会	鈴木 留美子	大阪府教育庁の障害児教育の理念である「ともに学び、ともに育つ」教育を推進していくために、こども園や小・中学校の「障害」のある子どもの保護者や保育士・教員のみなさんと、障害者権利条約が謳っている「場を分けない」インクルーシブ保育・教育の大切さについてともに考え実践していくことを目指した活動として、講演会や毎月の例会やつながろう集会をする。また、「ともに学び、ともに育つ」保育・教育の延長線上として府立高校での「ともに学び、ともに育つ」教育を一層推進していくために、どんな「障害」があっても本人が高校進学を望むなら高校入学が実現できるように、様々な情報を多くの府民のみなさんに知ってもらうために学習会を開催する。	20万円
4	大阪府立生野支援学校	首席 豊島 秀多	わかば・いくの共同学習プロジェクト～地域社会と共同した学びの場～	10万円
5	泉南市立東小学校	校長 上田 久和	「わくわく活動」 東小学校の周りにある豊かな自然（山や川）や、地域にある人的・物的資源を活用して、子どもたちがわくわく、のびのびと学習活動に取り組み、主体的・対話的で深い学びを目指す。	6万円
6	大阪府立北摂つばさ高等学校 (がんばろう！ つばさネットワーク)	教諭 藤井 伸二	「東日本大震災と大阪北部地震の被災地から元気を発信！親善野球」 コロナ終息を願い、大阪北部地震と東日本大震災の被災地6校の高校生と小学生100名がスポーツ交流を通じて体力向上と心の交流を実現します。	10万円
7	泉南市立新家東小学校	校長 仲川 俊行	願いを込めた「どんど祭り」	10万円
8	富田林市立第一中学校	人権教育主担 廣浦 力紀	国際交流サークル『ともの会』として外国にルーツのある生徒、外国に興味のある生徒たちの活動の充実（活動の一つとしてサムルノリ演奏のための楽器や道具の充実と技術の継承）	20万円
9	岸和田市立山直北小学校	校長 植田 和幸	地域の学校・地域の河川を守るクリーン大作戦①② ①夏休み最後に、保護者・児童・地域の方・教職員と一緒に汗をかきながら、校内や学校周辺の清掃活動を行う。 ②11月第3日曜日に、上記の人が牛滝川清掃活動を行い、環境美化推進と家庭ごみ問題を考えるきっかけにする。	10万円
10	松原市立布忍小学校	校長 池上 英明	外国にルーツのある子どもたちが仲間や保護者、地域の青年たちと共に全学年で進める多文化共生学習と子どもたちの居場所づくりに資する。	20万円
11	大阪狭山市立北小学校	校長 寺田 育	他学年・他校園種の子もたち、外部人材・地域住民や保護者など、多くの人たちとのつながりを通して感謝の念を抱きながら、学校や地域社会の人々を大切に思う心の育成に取り組む。	6万円

133万円